



令和3年度地産地消等優良活動表彰
【食品産業部門】

北陸農政局長賞

万代にぎわい創造株式会社



組織概要

◆新潟県新潟市

代表者名：代表取締役社長 本間 龍夫

連絡先：025-249-2560 (Webサイト)<https://www.bandai-nigiwai.jp/>

創業：2010年

新潟市内で量販店と差別化した地産地消の拠点「みなとのマルシェピアBandai」を運営。施設の建設・運営コストを抑え、生産者は利益を、消費者はよいものを安く買える、どちらにもうれしい取組。

取組の概要

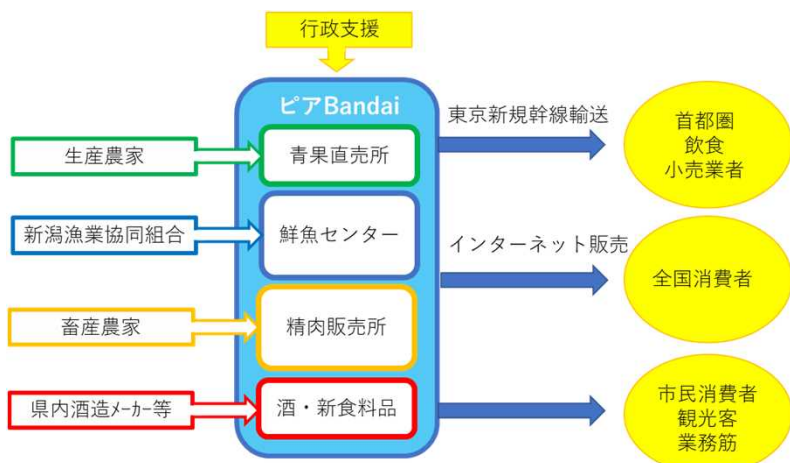
2010年に、市内の中小流通業者11社が出資し設立。新潟県の食の情報発信の拠点として、「ピアBandai」を開業。テナント15店舗の大部分が「新潟市地産地消推進店」に認定されており、新潟の食、食文化にこだわった品揃えを行っている。

また、「モーニングマルシェ」を開催するなど、観光客だけでなく地域住民からの支持も得ている。



直売所店内の様子

関係図



生産者及び出荷者販売部門会議の様子



令和3年度地産地消等優良活動表彰
【食品産業部門】

北陸農政局長賞

旬菜市場 ふくの里



組織概要

◆富山県南砺市

代表者名：ふくの産地直売所運営協議会 会長 橋爪 忠則
連絡先：0763-22-1147 (Webサイト)<https://www.fukuno-sato.com/>
創業：2000年

南砺市及びその近隣の地場農産物・食品を販売する産地直売所。販売だけではなく、伝統料理や寄せ植えなどの体験教室を開催するなど、消費者と生産者をつなぐ取組。

取組の概要

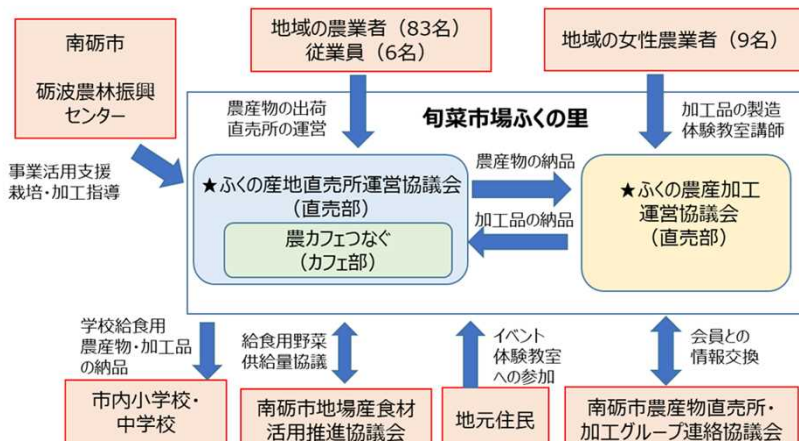
開業以来21年間、地元の農産物・食品等を取り扱っている。生産者の高齢化が進む中で、うまく後継者を取りこむとともに、新規就農者の加入にもつなげている。

また、イベントや体験教室などを実施し、直売所に足を運んでもらう機会を積極的に作り、消費者の消費喚起、出荷者の生きがい、生産意欲の増進につながっている。



イベントでにぎわう様子

関係図



体験教室「野菜栽培講習」の様子



令和3年度地産地消等優良活動表彰
【教育関係部門】

北陸農政局長賞

北里大学保健衛生専門学院



組織概要

◆新潟県南魚沼市

代表者名：学院長 遠藤 尚光

連絡先：025-779-4511 (Webサイト) <https://www.niigata-kitasato-u.ac.jp/>

創業：1982年 取組開始：2016年

学校と、新潟県、南魚沼市、JAみなみ魚沼、うおぬま未来農人など、関係者が密に連携し、学生の力を活用して地場産野菜の消費拡大を図る取組。

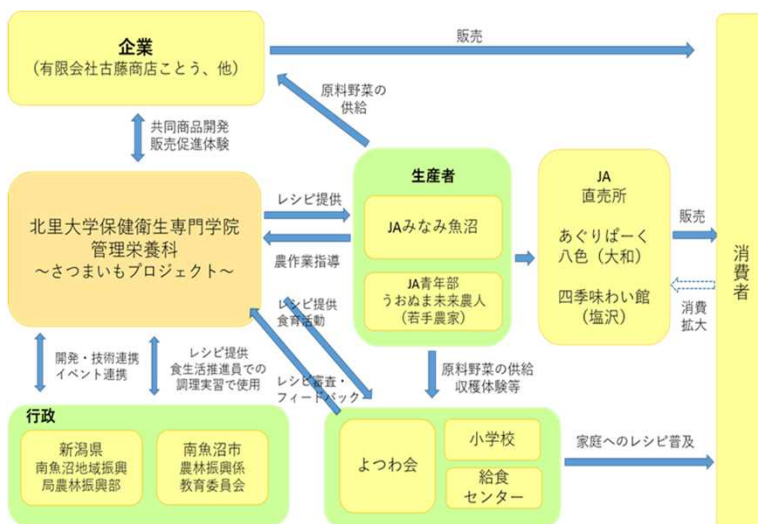
取組の概要

2016年、米以外の特産品を作るため、さつまいもの商品開発や新しい食べ方の提案(レシピの開発)を行う「さつまいもプロジェクト」を開始。直売所で、レシピの配布と試食を行い、消費者の購買意欲の向上、生産の拡大につながっている。



JAのスイーツフェスタに参加

関係図



関係者と試作品を検討する様子



令和3年度地産地消等優良活動表彰
【教育関係部門】

北陸農政局長賞

福井県立奥越明成高等学校



組織概要

◆福井県大野市

代表者名：学校長 山岸 真一郎

連絡先：0779-66-4610 (Webサイト) <http://www.okuetsumeisei-h.ed.jp/>

創業：2011年(開校)

生活福祉科生活コースの生徒が、地元の農林水産物を活用したレシピを開発し、地元企業が商品化し販売している取組。

取組の概要

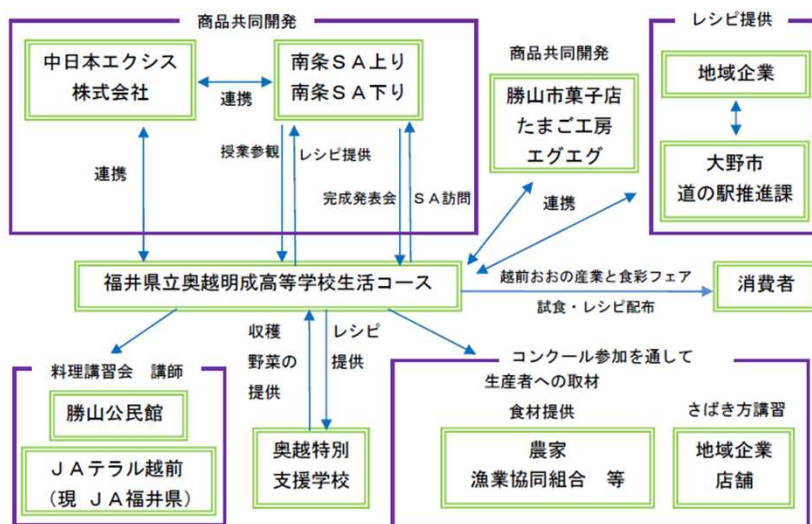
地域の企業等と連携して、地元農林水産物を使ったレシピを開発。生徒が開発したレシピを基に、レストランメニューとしてサービスエリアや道の駅で提供。

また、地域のイベントや全国コンクールに積極的に参加し、地元食材の魅力を県内外に発信するとともに、コンクールなどにより、地域の社会的課題が食を通じて解決につながるよう提案を行っている。



生徒考案レシピの試食会の準備（本校調理室）

関係図



南条SAとのコラボメニューの販売ポスター